事例No.	1412
公表年度	R3
団体の属性	町村
団体名	徳島県上勝町

事例区分	一般行政

タグ	・税財政 ・専門人材の確保 ・組織改革

事例種類	森林整備

事例内容・タイトル

保育間伐等の実施

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

徳島県　上勝町（保育間伐等の実施）

- 上勝町では、土地総面積の約80％以上がスギ人工林であり、木材価格の低迷と高齢化、人口減少等により伐期等を過ぎても手がつけられていない森林が多く存在する。
- これまで、素材生産業者は森林組合のみであったが、平成30年度に新林業事業体である（一社）かみかつ森林環境公社を設立。森林環境譲与税を活用して、両事業体への委託等により森林調査や間伐等を推進するとともに、担い手育成・確保に取り組む。

□　事業内容

1　森林経営計画の作成を促進するための森林調査

- 林道沿い等で森林経営に適すると判断でき、今後経営計画を策定できる可能性のある森林について、森林調査等を実施。

【事 業 費】１，８７０千円（全額譲与税）

【実　　績】次年度において新たに５０ｈａの経営計画を策定する。

2　経営に適するか否かを判断するための森林調査

- 意向調査の結果により、市町村への経営管理を希望した森林について森林調査等を実施。

【事 業 費】３，７４０千円（全額譲与税）

【実　　績】新たに１００ｈａの森林調査が完了した。

3　保育間伐の実施

- 昨年度に実施した森林調査等の結果により、ある程度まとまりのある地区から、近年の施業履歴及び樹齢等を鑑み、森林所有者と町が協定を結び保育間伐を実施。

【事 業 費】５，９９５千円（全額譲与税）

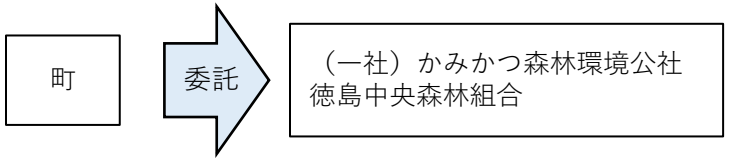
【実　　績】新たに未整備林３０haの保育間伐を実施した。



▲新規林業従事者による保育間伐の実施

□　事業スキーム

１～３　森林調査・保育間伐



□　工夫・留意した点

- 森林組合が通常進めている搬出間伐事業に加え、新たに令和２年度から、（一社）かみかつ森林環境公社において保育間伐事業が実施ができる体制ができた。先々を見据え、先行した森林調査を実施し、切れ目のない事業の実施を行うよう努めており、結果、新規林業就労者２名の雇用につながった。（かみかつ森林環境公社　累計４名）
- 経営に適する森林と適さない森林とを、森林組合及びかみかつ森林環境公社で施業を分担することにより、各事業所の強みを活かした体制づくり（担い手育成・確保）を進めている。

□　基礎データ

①令和２年度譲与額	２８，０４０千円
②私有林人工林面積（※１）	７，０８２ha
③林野率（※２）	89％
④人口（※３）	１，５４５人
⑤林業就業者数（※３）	２２人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より